



新しい大河ドラマ「どうする家康」が始まりました。久々に戦国時代が舞台のドラマです。どんな物語になるか楽しみです。

さて、徳川家康は晩年、歯が全て抜け落ちてしまったため、入れ歯をしていたというのは、書物などにも記されている有名な話です。この時代の入れ歯は、木ろうで型を取り、その歯形を元に、つげの木を削り作られていました。また、前歯には自分の歯か他人の歯を絹糸で台にくくり付け、奥歯は金属の釘を何本も打ち付け、よく噛めるように工夫がしてありました。部分入れ歯にも対応したり、和紙を挟んで入れ歯安定剤のような役割を持たせていたそうです。400年以上も前に、現代のような精巧な入れ歯を作っていたなんて驚きですね。

現在では、歯が抜けてしまったら、入れ歯・ブリッジ・インプラントなど様々な治療方法が選べますが、いつの時代でも一番大切なのはやはり自分の歯です。虫歯・歯周病予防をこころがけましょう！

ながさき歯科からのお知らせ



PMTCを受けましょう



ながさき歯科医院

電話 042-729-4182

訪問専用ダイヤル 0120-75-4182

診療科目 一般歯科、小児歯科、口腔外科、歯列矯正、審美歯科、インプラント、
予防歯科、訪問診療

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:30 ~13:00	9:30 ~13:00	9:30 ~13:00	休診	9:30 ~13:00	9:30 ~13:00
午後	14:00 ~18:00	14:00 ~18:00	14:00 ~18:00	休診	14:00 ~18:00	14:00 ~16:30
休診日：日曜・祝日・木曜日（受付は30分前まで）						

抜けた歯を放置するとどうなる？

歯周病や事故で残念ながら歯を失ってしまったとき、「抜いたのは奥歯で目立たないから」「1本くらい歯がなくても不便はないから」「痛みはないから」と抜けたまま放置してしまうと、時間が経つにつれ様々なお口や体の不具合が出てまいります。



◆歯並びや噛み合わせが崩れる

歯は、空いたスペースを埋めようとする働きがあります。歯が抜けた部分をそのままにしていると、両側の歯が傾いて倒れてきたり、反対側の歯が伸びてきて歯並びや噛み合わせが乱れ始めます。

◆見た目が悪くなる

歯が抜けると歯茎が下がってきます。また、歯並びのバランスが悪くなると、頬がこけたり、口元の皺が増えたりして、顔の見え方が変わってきます。

歯が抜けている所は、笑った時やお話をしているときに目立ちます。そのため、あまり笑えなくなって表情が不自然になったり、口元を手で隠すような仕草も増えてきます。

◆胃腸に負担がかかる

歯が抜けてしまうと噛む能力が下がるため、食べ物をうまく噛めないまま飲み込んでしまいがちになります。そうすると胃に負担をかけ、消化不良を招きます。きちんと栄養を吸収できなければ、免疫力が低下し、栄養不良に陥って、フレイル（虚弱）体質になっていきます。

◆認知症のリスクが上がる

歯が抜けると、噛むことによる脳への刺激が減少して、認知症のリスクが高まります。奥歯を一本失うと、なんと40%もかみ砕く力が低下し、認知症のリスクは2倍になるといわれています。

★歯を失ったときの治療法の比較

歯を失った際には、主にインプラント、入れ歯、ブリッジの3つの治療法があります。歯科医師と相談の上、ご自分にとって納得のいく治療を選びましょう。

	インプラント	入れ歯	ブリッジ
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 天然歯と同じような仕上がりになる 自分の歯と同じように噛める 	<ul style="list-style-type: none"> 治療回数や通院回数が比較的短い 種類が選べる 手術が不要 保険がきく素材もある 	<ul style="list-style-type: none"> 治療回数や通院回数が比較的短い 手術が不要 保険がきく素材もある
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 保険がきかない 手術が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 違和感がある 目立つ 毎日のお手入れが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 汚れがたまりやすい 両隣の歯を削る必要がある 隣の健康な歯を削る必要がある



ながさき歯科医院

